

各位

三神地域農業指導者連絡会作物部会
三神農業振興センター

「稲作情報（第9号）」について（送付）
このことについて、下記のとおり送付しますので、業務の参考にして下さい。

稲・大豆作情報（第9号）

1. 情報田生育調査結果について

(1) 耕種概要

品種名	夢しずく (上峰町)	ヒノヒカリ (鳥栖市)	さがびより (みやき町)	ヒヨクモチ (神崎市)
移植日(月日)	6月11日 (平年：6/10)	6月23日 (平年：6/20)	6月19日 (平年：6/21)	6月20日 (平年：6/21)
栽植密度(株/㎡)	15.7 (52.5株/坪)	18.5 (61.6株/坪)	18.8 (62.6株/坪)	16.8 (55.9株/坪)

(2) 調査結果（8月24日現在）

品種名	夢しずく	ヒノヒカリ	さがびより	ヒヨクモチ
草丈(cm)		101.8	92.8	89.3
平年値(平年比)		96.1(105)	97.1(96)	82.3(108)
茎数(本/㎡)		327	387	491
平年値(平年比)		390(84)	409(95)	484(101)
葉齢(L)	出穂期 8/10	14.4 止葉	15.2 止葉	15.3
平年値(平年比)		14.3(+0.1)	15.1(+0.1)	15.6(-0.3)
葉色(SPAD値)		26.9	24.4	34.1
平年値(平年比)		32.5(83)	34.4(71)	36.9(92)

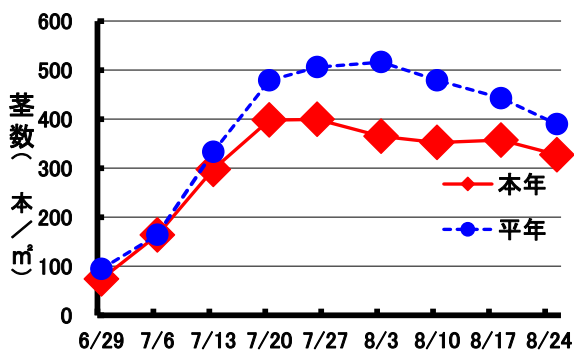


図1 ヒノヒカリ茎数の推移

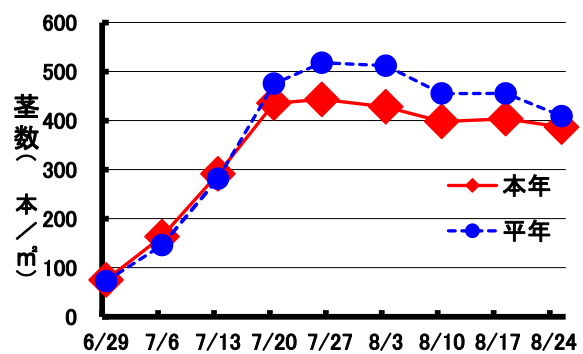


図2 さがびより茎数の推移

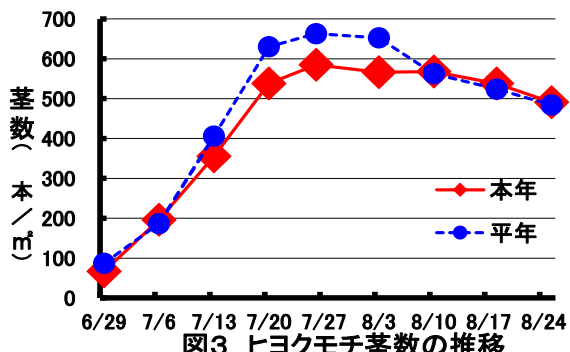



図3 ヒヨクモチ茎数の推移

農試データは佐賀県農業試験研究センターのホームページで技術資料〈米づくり情報〉を確認してください。

佐賀県農業試験研究センター 技術資料 

2. 気象及び普通期水稻の生育概況について（8月24日現在）

（1）気象（8月16日～8月21日までの期間）

- 【平均気温】 平年より0.1℃高い。
- 【日照時間】 日年比54%と短い。
- 【降水量】 平年比766%と多い。

（2）生育概況

6/10 移植の「夢しずく」は乳熟期～糊熟期を迎えている。
草丈は「さがびより」でやや低く、その他の品種で高くなっている。
茎数は「ヒノヒカリ」、「さがびより」で少なく、「ヒヨクモチ」でほぼ平年並みとなっている。
葉色は「ヒヨクモチ」でやや淡く、その他の品種で淡くなっている。
主幹葉齢の展開は、「ヒノヒカリ」、「さがびより」でほぼ平年並み、「ヒヨクモチ」でやや遅くなっている。

3. 普通期水稻の今後の管理について（8月24日～）

（1）水管理

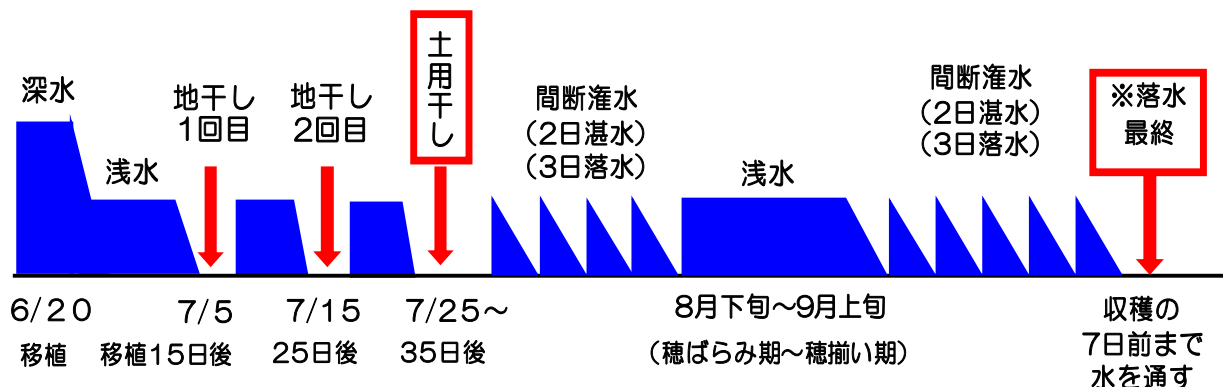
①「夢しずく」の水管理

- ・現在、生育ステージは乳熟期～糊熟期頃となっている。（6/11 移植は8/10 出穂期）
- ・根の活力維持及び地固めのため、間断灌水に移行する。

②「ヒノヒカリ」・「さがびより」・「天使の詩」・「ヒヨクモチ」の水管理

- ・「ヒノヒカリ」は間もなく出穂期を迎える。
- ・「さがびより」・「天使の詩」では穂ばらみ期を迎えており、止葉が抽出している。（幼耳間長50～70mm程度）。
- ・「ヒヨクモチ」は、止葉が抽出している。

- ・幼穂形成期以降は、水を必要とする時期なので、穂揃い期まで浅水で湛水状態を保ち
その後は根の活力維持および地固めのため、間断灌水に移行する。



（2）穂肥

①「ヒヨクモチ」の穂肥

「ヒヨクモチ」の穂肥施用の目安

- ・「ヒヨクモチ」では、現在2回目の穂肥時期を迎えている。次ページの穂肥施用基準を参考に施用する。

なお、元肥一発肥料を施用した圃場でも、葉色が8月下旬にSPADで38を切った場合は、BB602で、10kg/10aを施用すれば、増収効果がある。

表1. ヒヨクモチの穂肥時期と穂肥量

肥料	穂肥Ⅰ施用量 (kg/10a)	施用時期 の目安	穂肥Ⅱ施用量 (kg/10a)	施用時期の目安	実肥施用量 (kg/10a)
LPBB804	40 (平坦:JA さが東部地区)	8月15 ~ 16日頃	なし	—	なし
	35 (山麓:JA さが東部地区)				
	30 (JA 神埼地区)				
BB602	25 (平坦:JA さが東部)	8月15 ~ 16日頃	10 (JA さが東部)	8月24 ~ 26日 (穂肥Ⅰの10日後)	10 (JA さが東部)
	25 (JA 神埼地区)		15 (JA 神埼地区)		

注1) 大豆跡の圃場では、穂肥の散布を控えるか、上記施用量の5割未満に減肥して施用する。

注2) 実肥を施用する場合は、穂揃期(平年:9月8日~10日頃)に施用する。

(3) 病害虫防除について

① 海外飛来性害虫

- 8月24日現在、ウンカ類(ヅトウカ、ビロウカ)は、6月25日頃、7月8日頃、7月19日頃に飛来が確認され、嬉野市のライトトラップでの総捕獲数(6/1~7/20)は、過去10年の中で2番目に多くなっている。
- 多くの圃場で、ウンカ類が確認(セジロウンカ主体ではあるが、一部トビイロウンカも確認)されている。
- 発生予測は随時更新されるため、防除の考え方等については、最新情報を農業技術防除センターのホームページで確認し、適期防除に努める。

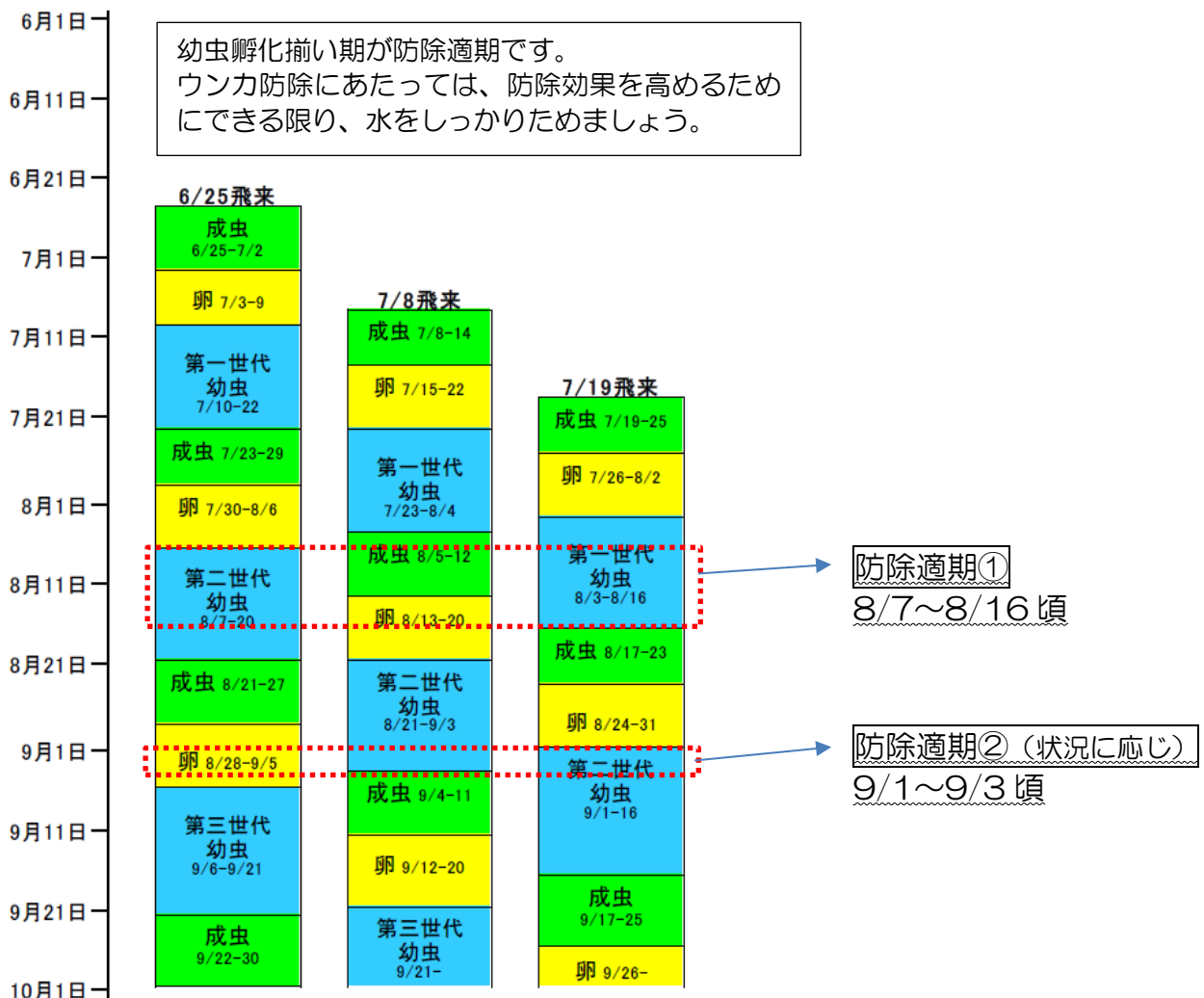


図1 トビイロウンカ各世代の発生予測(第3版、2022年7月20日作成)

② 斑点米カメムシ類について

- ・向こう 1 か月の気象予報（福岡管区气象台：8/20～9/19）によると、九州北部地方では、今後も平均気温は高くなると予想されているため、カメムシ類の発生量は、平年よりやや多いと予測される。
- ・出穂後に畦畔除草をおこなうと水田内に斑点米カメムシ類を誘い込んで被害を助長するので、出穂 10 日前までに草刈りを済ませ、乳熟期（穂揃い期の約 10 日後）を中心に薬剤防除を実施する。



水稻を加害するカメムシ類(8/24：神埼)

※被害の常発地帯や多発生が予想される場合は、穂揃い期と乳熟期に薬剤防除を行うと効果的です。

表 2. 各品種別の草刈り時期と防除時期の目安

品種名	出穂 10 日前	出穂期（平年）	乳熟期（平年）
夢しずく	～8/2 頃まで	8/12	<u>8/24 頃</u>
ヒノヒカリ	～8/17 頃まで	8/27	<u>9/8 頃</u>
さがびより	～8/22 頃まで	9/1	<u>9/13 頃</u>
ヒヨクモチ	<u>～8/27 頃まで</u>	9/5	<u>9/17 頃</u>

※出穂期（平年）は、三神管内における情報田のデータの平均値

③ いもち病

- ・現在、三神管内において、葉いもちの病斑（停止型）を確認している。8月11日以降降雨の日が多かったため、今後発病し（いもち病の潜伏期間は約1週間）いもち病が増加する可能性があるため注意が必要である。
- ・本田で新たな病斑の発生が認められたら臨機防除を検討し、特に、上位葉に進展型病斑が見られる場合、早急に防除を実施する。

④ 紋枯れ病

- ・多くの圃場で紋枯れ病の発生を確認している。
- ・高温多湿条件が続くと、紋枯れ病が進展する恐れが高まるので、病斑が確認される場合は、上位葉の葉鞘に進展（垂直進展）する時期に防除を行う。（液剤・粉剤の場合は、出穂の 10～20 日間を目安）



紋枯れ病の病斑（8/24：ヒヨクモチ）

※8/11 以降、多湿条件が続いていることからいもち病や紋枯れ病などの発生が多くなる恐れがあります。

ウンカ類の防除と併せて、病気の防除を計画しましょう。

4. 大豆の今後の管理について

1) 大豆の生育状況

播種期が6月下旬～7月下旬にかけて幅広いため、播種期により圃場間で生育格差が見られている。大豆の生育ステージは、6月下旬頃播種が開花最盛期～末期、7月上旬頃播種が開花期、7月中旬頃播種が開花始めとなっている。



開花盛期の大豆（8/24：鳥栖）

2) 今後の管理

○中耕・培土の実施（7月下旬～8月上旬播種）

- 遅播きの大豆では、土壌が乾燥次第、本葉が4、5枚開いたのを確認したら、初生葉が隠れる程度まで培土を行う。

ただし、遅播き大豆（7月下旬～8月上旬播種）の場合地上部の生育が不足し茎長が短く、最下着莢位置も低くなると予測されるため、培土は軽め（うねの高さは例年より低く）に行い、収穫ロスの低減と汚粒の発生防止に努める。

※開花期が近い圃場や、開花期以降の圃場での中耕は根を痛めますので控えましょう。

3) 除草剤について

○生育期処理

- 雑草の発生が多い圃場では、雑草の発生に応じて生育期の茎葉処理剤（イネ科：ポルトフロアブル、広葉：アタックショット乳剤等）を散布する。
- アサガオ類・ホオズキ類の難防除雑草がすでに圃場内に発生している場合は、発生が少ないうちに、雑草の開花や結実前までの茎葉処理除草剤のスポット散布や手取りによる防除を実施する。

4) 病害虫防除（ハスモンヨトウ、カメムシ類）

- 農業技術防除センターの病害虫発生予察情報(8/10:第5号)によると、本年はハスモンヨトウの発生が、平年より「やや多」、カメムシ類の発生が「多」と予測されている。
- 今後、天候が高温少雨で経過した場合、ハスモンヨトウの増殖に伴う被害拡大が懸念されるため、フェロモントラップの捕殺数や白変葉の増加に注意する。



ハスモンヨトウの若齢幼虫（8/24：鳥栖）

- 播種期が早い圃場では、ハスモンヨトウの若齢幼虫が確認されている。
- ハスモンヨトウの防除適期は、若令幼虫による白変葉が見られ始めた頃であり、防除が遅れ中令幼虫以上（体長約2 cm以上）になると、防除効果が低下する。
- 防除後約3日経過した後も高い密度で食害を続けている時は、再防除が必要となる。
- カメムシ類の防除適期は、莢の伸長初期から子実肥大中期であるため、圃場での発生状況を確認し、遅れないように防除を実施する。

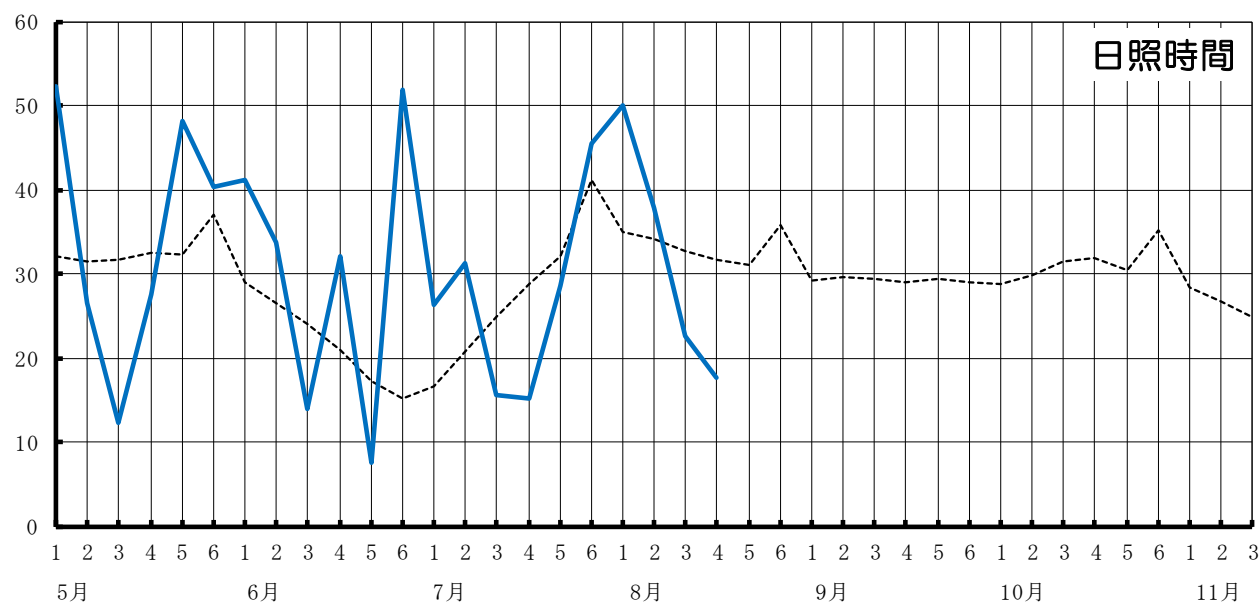
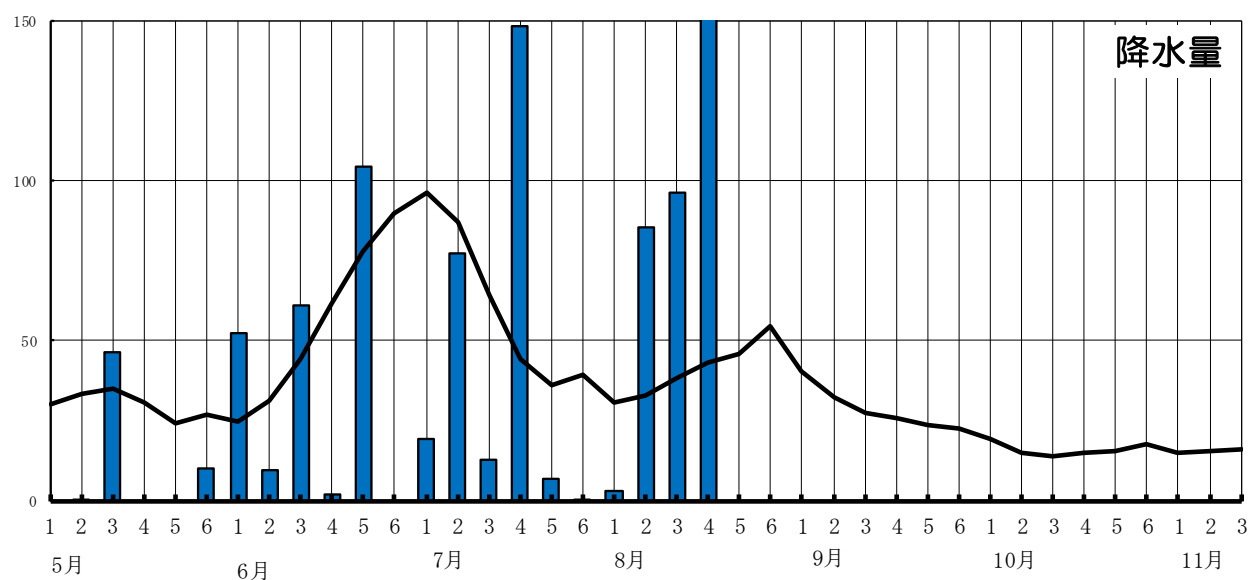
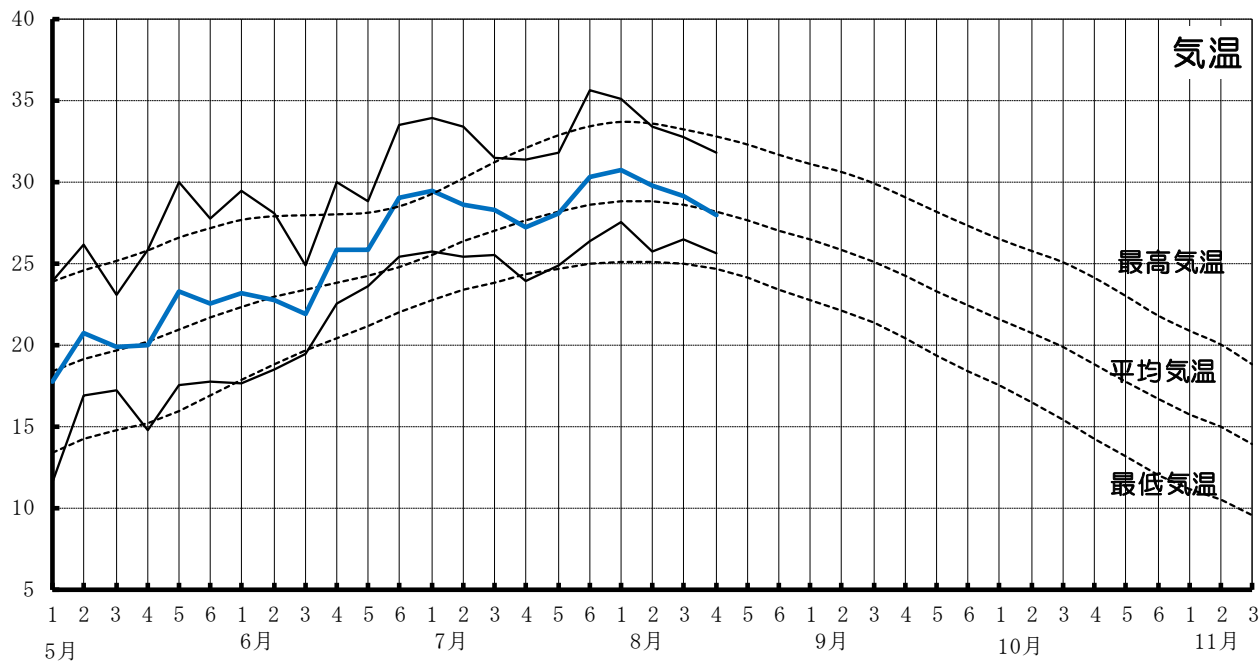


ハスモンヨトウ（①若齢幼虫の集団、②白変葉〈若齢幼虫の集団による食害〉、③中-老齢幼虫）
（平成22年撮影）

圃場毎に発生状況を確認し、適期防除を実施してください

令和4年産水稲生育期間気象グラフ（アメダス：佐賀）

三神農業振興センター



令和4年産 収穫期予想積算表(アメダス観測地, 佐賀)

三神地域農業指導者連絡会作物部会
令和4年8月24日 現在

(積算気温による収穫適期の目安)

月	日	平均気温		夢しずく 900~1150℃				ヒノヒカリ 900~1050℃				出穂期	
		平年	本年	8/10	8/12	8/14	8/16	8/22	8/24	8/26	8/28		
8	10	28.7	30.3	出穂期									
	11	28.6	30.3	30									
	12	28.6	27.9	58	出穂期								
	13	28.5	27.9	86	28								
	14	28.5	30.1	116	58	出穂期							
	15	28.4	29.4	146	87	29							
	16	28.3	27.5	173	115	57	出穂期						
	17	28.2	25.5	199	140	82	26						
	18	28.1	27.3	226	168	110	53						
	19	28.1	29.1	255	197	139	82						
	20	28.0	30.4	285	227	169	112						
	21	27.9	29.2	315	256	198	142						
	22	27.8	29.7	344	286	228	171	出穂期					
	23	27.6	29.7	374	316	258	201	30					
	24	27.5		402	343	285	228	57	出穂期				
	25	27.4		429	371	313	256	85	27				
	26	27.3		456	398	340	283	112	55	出穂期			
	27	27.2		483	425	367	310	139	82	27			
	28	27.1		511	452	394	337	166	109	54	出穂期		
	29	26.9		537	479	421	364	193	136	81	27		
	30	26.8		564	506	448	391	220	163	108	54		
	31	26.7		591	533	475	418	247	189	135	80		
	9	1	26.6		618	559	501	444	273	216	161	107	
		2	26.5		644	586	528	471	300	243	188	134	
		3	26.4		670	612	554	497	326	269	214	160	
		4	26.3		697	639	581	524	352	295	241	186	
		5	26.2		723	665	607	550	379	321	267	212	
		6	26.0		749	691	633	576	405	347	293	238	
		7	25.9		775	717	659	602	431	373	319	264	
		8	25.8		801	742	684	628	456	399	344	290	
		9	25.7		826	768	710	653	482	425	370	316	
10		25.5		852	794	736	679	508	450	396	341		
11		25.4		877	819	761	704	533	476	421	367		
12		25.3		903	844	786	729	558	501	446	392		
13		25.1		928	869	811	755	583	526	471	417		
14		24.9		953	894	836	779	608	551	496	442		
15		24.8		977	919	861	804	633	576	521	467		
16		24.6		1002	944	886	829	658	600	546	491		
17		24.4		1026	968	910	853	682	625	570	516		
18		24.2		1051	992	934	877	706	649	594	540		
19		24.0		1075	1016	958	901	730	673	618	564		
20		23.8		1098	1040	982	925	754	697	642	588		
21		23.6		1122	1064	1006	949	778	720	666	611		
22		23.4		1145	1087	1029	972	801	744	689	635		
23		23.3		1169	1110	1052	996	824	767	712	658		
24		23.1		1192	1134	1076	1019	847	790	736	681		
25		22.9		1215	1156	1098	1042	870	813	758	704		
26		22.7		1237	1179	1121	1064	893	836	781	727		
27		22.6		1260	1202	1144	1087	916	858	804	749		
28		22.4		1282	1224	1166	1109	938	881	826	772		
29		22.2		1305	1246	1188	1131	960	903	848	794		
30		22.1		1327	1268	1210	1154	982	925	870	816		
10		1	21.9		1349	1290	1232	1175	1004	947	892	838	
	2	21.7		1370	1312	1254	1197	1026	969	914	860		
	3	21.6		1392	1334	1276	1219	1048	990	936	881		
	4	21.4		1413	1355	1297	1240	1069	1012	957	903		
	5	21.2		1434	1376	1318	1261	1090	1033	978	924		
	6	21.1		1456	1397	1339	1282	1111	1054	999	945		
	7	20.9		1476	1418	1360	1303	1132	1075	1020	966		
	8	20.7		1497	1439	1381	1324	1153	1096	1041	987		
	9	20.6		1518	1460	1402	1345	1173	1116	1062	1007		
	10	20.4		1538	1480	1422	1365	1194	1137	1082	1028		
	11	20.2		1558	1500	1442	1385	1214	1157	1102	1048		
	12	20.0		1578	1520	1462	1405	1234	1177	1122	1068		
	13	19.8		1598	1540	1482	1425	1254	1197	1142	1088		
	14	19.6		1618	1560	1502	1445	1273	1216	1162	1107		
	15	19.4		1637	1579	1521	1464	1293	1236	1181	1127		

<収穫のポイント>

- ・積算表はあくまで目安です。気温が高く推移すれば予想より早まり、気温が低く推移すれば予想より遅くなります。圃場での熟れ具合を確認したうえで、収穫日を決定してください。
- ・早期落水は充実不足による「ヤセ米」や「屑米」・「死米」が発生しやすく、品質低下の原因となりますので、必ず間断灌水を実施して根の活力維持に努めてください。
- ・コンバイン収穫では、麦などの異種穀粒や異物が混入しないように清掃点検を行いましょう。
- ・籾水分が高い時は、収穫後できるだけ速やかに通風・乾燥を行いましょう。
- ・一時堆積中の時間が長いと、籾の温度が高くなりヤケ米が発生しやすくなります。穀温が高くなり、熱く感じられるときはヤケ米が発生してしまいます。

<収穫適期の目安>

◎ 籾水分29%以下

- ・穂軸の先端(穂先)から1~2cmが枯れ、穂元の青籾が5~7粒残っている状態で、籾をツメで押してもつぶれなくなった時です。
- ・収穫は、穀粒水分30%以下に低下してから始まります。籾水分27~28%の頃が刈り取りの中心となり、籾水分25%未満(積算気温で1,150度以上)になると、刈遅れによる品質低下が目立ってきます。
- ・早刈りは、玄米の充実不足による「青未熟粒」や「死米」が発生しやすくなります。「青未熟粒」が多いと食味が劣り、また収量も低下しますので、早刈りは避けましょう。
- ・遅刈りは、「胴割米」や「茶米」、「穂発芽粒」が発生しやすくなり、品質低下の原因となりますので刈遅れとならないように注意してください。

